

国際ロータリー会長
李 東建
地区ガバナー
馬場 信彦
北クラブ会長
石川 友意
幹事
米山キクエ
SAA
外山 裕一

三条北ロータリークラブ週報

例会日 2009. 3. 14 計 No.1076 当年 No.33



夢をかたちに

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30
例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
ホームページ:<http://www.sanjo-nrc.org>
メールアドレス:north@sanjo-nrc.org

本日の出席:69名中45名
(内記帳11名)

先々週の出席率:
69名中56名81.16%
(前年同期71.64%)

先週のメークアップ:(敬称略)

3月 4日巻RCへ
米山忠俊 堀田正弘
5日三条東RCへ
米山忠俊 斎藤 正
7日米山奨学生歓送会
山本 賢
9日IM打合 米山忠俊
10日分水RCへ 米山忠俊
12日見附RCへ
米山忠俊 高森志志
12日三条東RCへ
笹原壯玄

10日記帳受付:(敬称略)

三条RCより 加藤紋次郎
斎藤弘文 菊池 涉
西川文夫 渡辺喜彦
丸山行彦 藤田紘一
三条南RCより 西巻克郎
坪井正康 渡辺久晃
三条東RCより 小出和子
柳原ちか雄

本日の行事:社会奉仕事業

「森の熊さん 食育講演会」



会長挨拶

石川友意会長



皆様こんばんわ、私は三条北ロータリークラブの本年度会長を仰せつかっております石川友意と申します。

本日、森野熊八先生による食育講演会に、このようにたくさんの皆様よりご来場賜り心から御礼申し上げます。

ロータリークラブは、先程受付にてお配りしたプリントに記載してありますように、職業を通じて国際社会に貢献し、地域社会に奉仕をする職業人の集まりでございます。

三条北ロータリークラブは、発足して23年が経過いたしておりますが、クラブ設立の原点として、青少年の健全育成を掲げて、今まで様々な奉仕活動を実施してまいりました。本年度は、昨年10月に我クラブの柄沢会員の(株)ハーモニックさんと共催で、奈良薬師寺の執事、大谷徹煇師をお招きし、一般の方々や小中学生を対象に「心を耕そう」と題し、講演会を開催いたしました。そして、本日は昨年度も実施し好評を得ました、食育講演会でございます。

ロータリークラブは比較的単年度事業、つまり毎年違った事業を実施するケースが多いのでございますが、この食育に関しましては、三条市、三条市教育委員会の積極的な活動により、「地産地消の推進」や「学校給食の改善」が図られております。

すでに今年度から、全国に先駆けて完全米飯給食が実施され、全国の自治体から注目を集めている様でございます。次世代を担う子供達にとって、この食育は最重要課題であるとの思いで、昨年度と同様の継続事業とさせていただきます。

本日、森野先生のお話から、食育に関して多くのことを学びたいと思います。

本講演会を開催するにあたり、ご後援頂きました三条市・国定市長様、三条市教育委員会・松永教育長様に深く感謝申し上げます。

そしてこの後、ご講演賜ります森野先生に深く御礼申し上げます。

又、本日ご来場賜りました多くの皆様方に感謝申し上げ、開会のご挨拶と致します。

ありがとうございました。

会場 三条市総合福祉センター

入場者数 380名

「もったいない」が食育の基本～まずは大人の食育から 子供の命を守る～

講師 森野熊発さん（料理人・タレント）

“料理の作り方を歌詞にして唱いながら作る”という「クッキングショー」で話題となり、全国各地のイベント等に多数ご出演です。明るく楽しい語り口で独自の料理世界を展開され、テレビ・ラジオ・雑誌で幅広くご活躍中です。近年は既成の栄養学にとらわれない“熊八流食育”を提案され講演活動も積極的に行っていらっしゃいます。



1日30品目バランスの取れた食事を取るなら、1回バランスの取れた食事を作り、毎日食べれば理想の食事となる。キャットフード・ドッグフードはわんちゃん、猫ちゃんの理想の食事であり毎日喜んで食べるが、人間はそうはいかない。等ユーモアタップリに話された。



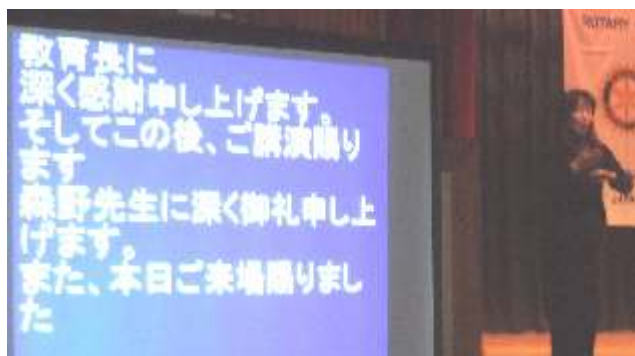
賞味期限を数字で判断するのはやめませんか。昔はお母さんが臭いをかいで、口に入れてみて「まだ大丈夫」「火を通せば食べられる」という言葉が賞味期限でした。
腐った味を知らなければそれがその物の味とってしまうかも知れない。
又、質問に答えながら、簡単なレシピも教えていただいた。



来賓 三条市教育長松永悦男様



手話通訳・要約筆記 障害のある方にも配慮



会場準備、受付、駐車場誘導と会員の皆様大変お疲れさまでした。



会員の声

後悔先に立たず 佐藤 弘志

百年に一度の世界経済危機、昨年秋のリーマンショック等により世界経済の破綻が始まった。折しも私の身体も昨年秋より危機が始まったのである。心臓病の発作であった。1年位前から時々、変な動悸がしたり胸が痛くなったり、少し動くと息があがって苦しくなったりしていたのであるが、検診を受けなかったのである。そして1日にタバコ50本、仕事にかまけての飲酒、遊びにかまけての夜な夜な、新潟古町、三条本字小路への出沒・・・・・・夜の帝王と冷やかされ奴になっていた。

そして昨年秋の金融危機と同時期に胸の痛みで入院、カテーテル検査、手術、病名は狭心症である。ベットで横になりながら仕事をやりすぎたかなあ・・・・・・と独り言を言うと、傍らに居た女房、「それも有るかも知れないけど、貴方の場合は遊び過ぎもあるのでは・・・・」心臓が『ドキン』として言葉が出ずしばらくは沈黙。百年に一度の経済危機は、政治が悪いとか、歴史は繰り返す等と言って済むが、自身の身体はこの次の百年（160歳）までは生きられないのであるから、あの時早く検診していればとか、酒、タバコやりすぎたとか、女房の言うように遊び過ぎたとか、本当にいろいろ『後悔先に立たず』である。

この度の経済危機は、2～3年で回復するだろう。どうか神様、よい子になりますから私の身体も回復させてください。後悔もしていますから、立たせてください、立たせてください、よい子になって祈っているこの頃である。